

# なよろ



名寄市観光キャラクター  
「なよろ」



令和4年  
第3回定例会  
第 **66** 号  
令和4年11月1日  
発行



名寄市議会ホームページ

- 定例会で決まったこと ..... 2
- 議決結果・賛否の分かれた議案・意見書 ..... 3
- 一般質問に 12 人（9月20～22日） ..... 4～9
- 令和3年度の決算を審査しました ..... 10～11
- 各常任委員会活動報告 ..... 12～14
- 各常任委員会視察報告 ..... 15～16
- 議員協議会 ..... 17
- きぼう（石川春花さん、今村柚月さん） ..... 18

題字 名寄市立大学 谷 実優(たにみひろ)さん

令和4年 第3回定例会 9月5日～9月29日

▽価格高騰、緊急支援による臨時的経費の補正予算を原案可決  
 ▽名寄市企業立地促進条例の特例に関する条例の制定について原案可決

▽令和4年第3回定例会は、9月5日から9月29日までの25日間の会期で開会。24件の議案を審議  
 ▽開会初日に加藤市長から行政報告  
 ▽議案審議では、「名寄市企業立地促進条例の特例に関する条例の制定について」を経済建設常任委員会に付託し、経済建設常任委員会と総務文教常任委員会合同で審査。委員長報告のとおり原案可決  
 ▽20日から22日には、一般質問で12人の議員が市政の課題について質問

条例の制定

☆名寄市の年末年始の休日の変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

円滑な行政事務の執行および市民の利便性の向上を図るために、年末年始の休日期間を国や北海道と同様に12月29日から翌年の1月3日までに変更、また関係する公共施設についても職員の休日と合わせて改正するため、合計30本の条例を一括して改正する条例を制定しました。

☆名寄市企業立地促進条例の

特例に関する条例の制定について

王子マテリア株式会社名寄工場の稼働停止による経済的損失から早期に地域経済を再生させ、雇用の創出を図るため、名寄市企業立地促進条例に定めるもののほか、特例として不動産賃貸業・管理業を追加、補助金の補助率と助成の限度額の変更等、特例として定めるため条例を制定しました。

主な条例の一部改正

☆名寄市税条例の一部改正  
 身体障がい者等が所有する

軽自動車税の減免申請について、引き続き一定の条件を満たす場合には必要な申請を省略できる等、ほか固定資産税・都市計画税に関する条例について条例で規定するため、条例の一部を改正しました。

主な補正予算

☆下水道事業会計繰出金・上水道事業会計繰出金

物価高騰を受け、広く市民・市内事業者の負担軽減を図るべく、令和4年11月から令和5年3月請求分の水道料金および下水道使用料の基本料金相当分を減額するため、4,697万円及び7,122万4千円を追加しました。

☆新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費・新型コロナウイルスワクチン接種事業費

ワクチン接種に従事する医師・看護師等の派遣委託料、事務員の時間外手当等の不足する経費として、3,492万5千円及び6,386万5千円を追加しました。

☆住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業費（価格高騰緊急支援分）

価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大

きい低所得者世帯等に対し、1世帯当たり5万円を給付するため、2億2,850万円を追加しました。

☆暖房費用緊急支援事業費

冬期間の暖房用燃料購入により、生活に大きな影響を受ける世帯に対し緊急的に暖房費用の一部を助成するため、4,171万8千円を追加しました。

☆持続的畑作生産体系緊急対策事業費

農業機械導入等にかかる補助金として2,376万4千円を追加しました。

☆市道除雪・排雪対策事業費  
 市道除雪業務委託等において、燃料費、労務単価の上昇等による不足額として、2,655万4千円を追加しました。

臨時会を開きました

令和4年第3回臨時会が7月22日に開催され、冒頭で岸教育長から就任の挨拶。名寄市幼保連携型認定こども園の整備にかかる工事請負契約の締結、令和4年度名寄市一般会計補正予算（第6号）等について審議し、原案のとおり可決しました。

## 令和4年 第3回名寄市議会臨時会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第2号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第3号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第4号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第5号	令和4年度名寄市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第6号	令和4年度名寄市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決

## 令和4年 第3回名寄市議会定例会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	名寄市の年末年始の休日の変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議案第2号	名寄市企業立地促進条例の特例に関する条例の制定について	原案可決
議案第3号	名寄市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	名寄市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	名寄市税条例の一部改正について	原案可決
議案第6号	名寄市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第7号	名寄市議会議員及び名寄市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第8号	令和4年度名寄市一般会計補正予算(第7号)	原案可決
議案第9号	令和4年度名寄市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第10号	令和4年度名寄市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第11号	令和4年度名寄市立大学特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第12号	令和4年度名寄市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第13号	令和3年度名寄市一般会計決算の認定について	認定
議案第14号	令和3年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について	認定
議案第15号	令和3年度名寄市介護保険特別会計決算の認定について	認定
議案第16号	令和3年度名寄市食肉センター事業特別会計決算の認定について	認定
議案第17号	令和3年度名寄市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定
議案第18号	令和3年度名寄市立大学特別会計決算の認定について	認定
議案第19号	令和3年度名寄市病院事業会計決算の認定について	認定
議案第20号	令和3年度名寄市水道事業会計決算の認定について	認定
議案第21号	令和3年度名寄市下水道事業会計決算の認定について	認定
議案第22号	令和4年度名寄市一般会計補正予算(第8号)	原案可決
議案第23号	令和4年度名寄市水道事業会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第24号	令和4年度名寄市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決

### 《賛否の分かれた議案》

※○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席)

議案番号	件名	議員名	市民ネット					市政クラブ					議	公	共				
			富岡達彦	倉澤宏	山崎真由美	佐久間誠	佐藤美枝子	高野勝秀	三浦勝秀	今村芳彦	五十嵐千絵	遠藤隆男				清水一夫	塩田昌彦	東川孝義	山田典幸
議案第2号	名寄市企業立地促進条例の特例に関する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×
議案第13号	令和3年度名寄市一般会計決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×
議案第14号	令和3年度名寄市国民健康保険特別会計決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×

※公(公明) 共(日本共産党) 議(議長) ※議長は表決に加わりません。

**第3回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。**

- ◎国土強靱化に資する社会資本整備等に関する意見書
- ◎労働・公務災害補償認定への努力義務の周知と認定充実を求める意見書
- ◎加齢性難聴者への補聴器購入に対する公的助成を求める意見書

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します  
二次元コードより発言の様子を見ることができます



物価高騰、緊急支援を求める

市民ネット 山崎 真由美 議員

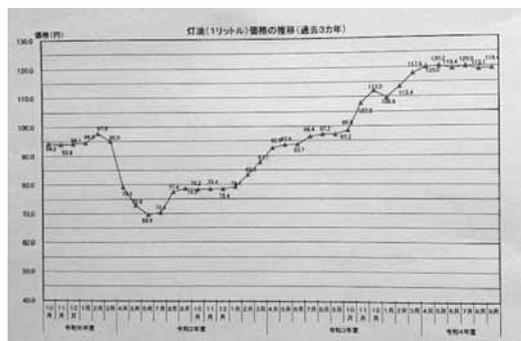
**燃料費に対する支援策強化を**

**問** 厳しい名寄の冬を健康で乗り切るためには「名寄市暖房費用緊急支援事業」の継続が望まれる。様々な品目での物価高騰が生活に大きく影響を及ぼす中、暖房費に対する支援策拡大の考えは。

**答** 寒冷地における原油高騰は、切実な問題と捉えており、昨年の「暖房費用緊急支援事業」の実施を視野に入れ、庁内議論を実施していく。また、コロナ禍及び経済状況に鑑み、庁内議論を深めていく。

**保護者負担の公平性を**

**問** 中学校における修学旅行経費の一部である交通費は、貸切バス等の借り上げ料を参加人数で按分することから、生徒数の多い学校と少ない学校との間に一万円以上の開きが出ている。同一自治体が設置する公立学校において、保護者負担の公平性が求められるが、今後の考えは。



灯油価格の高騰は生活を圧迫

**答** 今後、保護者間の差が大きくなるように、また、学校間格差が生じないように、できるだけきめ細かく学校の情報を集めながら、保護者負担が均一に近づくよう努める。

**問** 年度により保護者負担に差が生じないように、「教育旅行支援事業」実施の考えは。

**答** 北海道の支援事業の動向に注視し、補助金による支援策など必要に応じ検討する。

**他の質問** 災害に強いまちを目指して



持続可能なまちづくりを

市政クラブ 東川 孝義 議員

**Nスポーツ活動の方向性は**

**問** Nスポーツコミッションが発足して今年で4年目を迎えるが、具体的な活動と成果は。Nスポーツ活動が市民に知れ渡っていない事に対する見解は。名寄市スポーツ団体の組織統合による効果は。

**答** Nスポーツは設立当初からスポーツ振興の一端を担っており、冬季スポーツ拠点化推進プロジェクト等で実績を上げている。市民向けの事業は、全戸チラシやSNSを活用し告知している。組織統合に向けては、デリケートな内容も含まれており、統合時期は柔軟に対応したい。効果については、多くの知見を活用する事ができ、スポーツによって地域の課題をひとつでも解決できる可能性がある。また、統合によって、施設を一元的に管理でき関係団体とも連携をとりやすくなる。

**財産を活かしたまちづくりは**

**問** 名寄市内には、数多くの自然・歴史財産があるが行政施策にどのように反映しているか。その財産の魅力度向上と未来へつなげる考え方は。

**答** 観光振興計画(第2次)では、地域経済の循環によるまちの賑わいと活性化を図ることを重要としている。名寄市内の自然・歴史財産の価値を再評価し、あらためて観光資源として見直し、磨き上げることが大切だと考える。



Nスポ主催の「街なか運動会」盛り上がる

## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



### 名寄市の未来を見据えて



市民ネット 富岡達彦 議員

#### JR宗谷本線活性化について

**問** 宗谷本線の持つ潜在的なポテンシャルと、公共インフラ機能としての位置づけについて伺う。

**答** 都市間や、空港を結ぶ基幹的ネットワークであり、重要な公共インフラであると認識。

**問** 観光資源としての宗谷本線を、観光振興計画(第2次)にどう位置づけるかについて伺う。

**答** きた北海道エコ・モビリティを推進していく中で、カーヌー・サイクリング・JRの「R3事業」に組み込んでいく。

**問** 客貨混載を含め、鉄道貨物輸送の可能性について伺う。

**答** 客貨混載など、多様な活用を模索していく。

**問** 自治体が鉄道サービスの当事者として、北海道や国、どのように連携して主体的に動いていくか伺う。

**答** 安定かつ恒久的な地域の足にしていくために、国の実

効性ある支援を求めていく。

公共交通網形成計画を基に議論を深めていく。

#### こども基本法成立に関わって

**問** 本市の後期基本計画の中で、こども基本法の理念をどう描いていくのかについて伺う。

**答** 6つの基本理念に基づき、「第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて、こどもたちの意見を聞く機会を確保していく。

**問** こどもの権利条約に基づいて「こどもの権利条例」を制定する考えについて伺う。

**答** 条例は制定していないが、こどもの権利条約の理念に基づき個別計画を実施していく。**他の質問** こども基本法と教育のかかわりについて



こどもがまんなか



### 住みつづけたいまちづくり



市政クラブ 遠藤隆男 議員

#### 移住・定住推進事業について

**問** 近年の移住状況について伺う。

**答** 平成29年度1件1名、平成30年度5件10名、令和元年度4件8名、令和2年度3件3名、令和3年度5件11名の方が移住しており、7割近くが道外からの移住で、年代は20代から60代まで各年代ほぼ同件数となっている。

**問** 移住者への支援施策について伺う。

**答** 令和元年度より国・道と連携し、東京圏からのUIJTアーンの促進及び地方の担い手不足対策のための移住支援金事業の取り組みを実施、その他の支援としては、今年度新たにクリエイティブ人材移住推進補助金を設け、情報通信やデザインなどのクリエイティブ人材の移住に対して20万円の補助を整備、1件の交付実績となっている。

**問** 定住支援施策について伺

う。

**答** ここで住み続けたいと思われれるまちを目指し、様々な施策による支援や環境の充実等を図り、今後は新たな産業雇用の場の創出に努め、併せてDX推進による市民サービスの向上を図り、色々な角度から施策を推進し、地域愛の醸成に繋がるよう魅力発信を継続して進めていく。

**他の質問** 地域おこし協力隊について



「みんなが住み続けたい」支援・体制づくりを

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します  
二次元コードより発言の様子を見ることができます



新たな道の駅で経済活性化

企業誘致は訪問活動の強化を

**問** 本市の活性化策として、現在考えられている様々な施策と組合せて「北の玄関口」として高規格道路名寄インターチェンジ付近に道の駅を整備することなどの考え方について伺う。

**答** 新たな道の駅整備は物流拠点・広域防災拠点構想との親和性が高い。8月に「モデル道の駅(防災部門)」に関して意見交換をするため、庁内組織を立ち上げた。国交省との意見交換や、官民連携した取り組みの検討が必要と考えている。

**問** 王子マテリア撤退後の市税の影響額が5千7百万円程度見込まれるとのことだったが、現在まで精査された減収金額について伺う。

**答** 令和4年度の当初予算の市税の影響額を全体で三千万円と見込んでいたが9月の課税状況で個人市民税52%減、

市民ネット 佐久間 誠 議員

法人市民税で36%減、固定資産税は償却資産の用途廃止、除却により28%の減で、この3税の合計で35%ほどの減収。当初予算の想定に近い数字となっている。

**問** 企業誘致はCSV型事業を手掛けている企業をピックアップし、本市にマッチする企業への働きかけを重層的に取り組み、具体的に議論を進めてみてはいかがか。

**答** 条例改正で、議員提案のCSV型事業にも迅速に対応でき地域創生にもつながるものと考えている。

他の質問 健全な地球環境を



解体が進む王子マテリア名寄工場。新たな企業誘致には重層的な働きかけが必要だ。



本市農業の発展に向けて

水田の集約化と農地整備事業

**問** 風連地区農家に研修時、中名寄地区の水田に比べ一枚の水田面積が小さく、大型農業機械を運用するには非効率と感じた。これからはGPSを活用した無人のトラクターによる耕運などが行われていく。水田の集約化と農地整備事業の考えを伺う。

**答** 国営や道営の事業を活用しての整備となる。一斉に全圃場の整備にはならないが、農業者からの意見や関係機関と協議・調整を図りながら計画的に進めていく。

重度障がい者の避難について

**問** 自宅療養の重度障がい者などの介護者から避難所で介護ベットのあれば使用したい旨の要望がある。人材開発センターの介護ベットの使用及び特例で清峰園に避難は可能か。

**答** 人材開発センターに避難した場合、基本的に備蓄の段

市政クラブ 清水 一夫 議員

ボールベットの使用を、緊急事態であれば、施設側の了承をいただき、使用可能と考えている。清峰園への避難は、基本的に入所者や施設職員の安全確保が優先され、受け入れは難しいものと考えている。

他の質問 農福連携、未婚農業後継者の婚活、防災訓練など



コンバインで稲の収穫

※CSV型事業：本業として社会問題の解決に取り組むこと。

## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



### 夢ある産業が未来を紡ぐ

市政クラブ 今村芳彦 議員

夢ある農業を目指して

**問** みどりの食料システム法が施行された。本市農業への影響は。

**答** 現時点では技術開発や実証試験が事業の中心となる見込みである。

今後、環境負荷の低減に向けた技術開発が労働力不足の解消やコスト低減に繋がる可能性があることから、農業振興センターを中心に実証試験を進める。

**問** 水田活用交付金の見直しも含め来年以降の同事業の見直しは。

**答** 北海道が中心となり、見直しに関する課題をとりまとめ、国へ提案する。本市として水田経営の実情を踏まえた対応と、畑作物の定着へ向けた支援を求め、生産者への情報提供に努める。

**問** 資材高騰も課題です。本市の受け止めと、策定を進めている農業・農村振興計画へ

の影響は。

**答** 経営の影響は大きいと認識している。今後の状況を踏まえ対応を検討したい。また、同計画でも現状を踏まえたコスト削減に向け議論を進める。

**問** 今こそ地産地消を進めるために市内農産物をお手頃価格で購入できる体制が必要では。

**答** 直売を手がける個人・グループの育成を図るとともに、市民理解の拡大と情報提供に努めたい。

夢ある除排雪を目指して

**問** 民間委託除雪車両の老朽化対策は。

**答** 貸与車両の増強や、払い下げ機械の購入などの手法を調査研究したい。



未来に向けてコンバインが進む稲刈りの図（風連瑞生地区）



### 安全・安心な暮らしづくり

市政クラブ 塩田昌彦 議員

学校給食費の負担軽減

**問** 学校給食の提供にかかる食材価格高騰の影響について。

**答** 文部科学省が示す学校給食摂取基準の栄養量や栄養バランスを考慮し、献立の工夫を行いながら児童生徒に喜ばれる学校給食の提供に努めている。一方、調味料類や加工食品など価格の高騰や品不足の状況に不安を感じており、

これまで同様の給食提供は難しくなるものと想定している。**問** 食材価格等上昇分の保護者の負担軽減について。

**答** 現状の給食提供において様々な価格高騰の影響は出ていないものの、9月・10月に想定される値上げの影響は大きいものと考えており、保護者から負担をいただいている給食費で賄いきれない場合は学校給食会と相談し、保護者の負担にならないよう努める。

**問** 安全・安心な生活道路の確保  
除排雪業務に必要な専用

車両及び特殊建設機械の現状。

**答** 名寄地区及び風連地区にかかわる民有車両は98台、本市の貸与車両は15台で民有車両の割合は87%となっている。本年調査によると民有車両の老朽化が進んでいる。

**問** 車両等の確保について。**答** 市民の安全・安心な生活道路の確保に関しては、近年の高齢化社会に伴い決め細やかな除排雪が求められており民有車両に依存している現状を踏まえ、車両更新に係る助成についての手法など研究検討する。

他の質問 公共施設とまちづくりについて



冬季除雪用トラック

市政全般について考え方や方針などを市長などに質問します  
二次元コードより発言の様子を見ることができます

## 困窮生活者の負担軽減を



公明 高橋 伸典 議員

**生活支援の迅速な給付を**

**問** 新型コロナウイルス感染症の長期化、そして本年2月末以降のロシアのウクライナ戦争による、原油高騰・物価高騰により生活困窮者の負担軽減のため地方創生臨時交付金を迅速に活用すべきでは。

**答** 現在も依然として、上昇を続ける原油価格などに圧迫を受けている家庭もあり、特に生活困窮者への支援策が必要であると認識している。今後、暖房費用等がかさむ冬季を迎えるにあたり、広い視野で庁内議論を実施し、より効果的な支援策になるよう、政策判断する。地方創生臨時交付金（原油価格・物価高騰対応分）の使い方がまだ見えていないが、重点交付金第1弾重点交付金第2弾と分け、支援を実施していく。

**問** コロナ感染後遺症外来設置  
市内でも新型コロナウイルス感染症の後遺症に苦しむ

子どもや市民がいる。後遺症外来等の設置と無料相談窓口の設置の考えは。

**答** 罹患後症状などは、保健所と連携し、まずはかかりつけ医や地域の医療機関に繋ぎ、相談窓口は保健所への相談を案内している。

**他の質問** 原油価格・物価高騰等総合緊急対策、公正な選挙の執行に向けて、投票率向上に向けた取り組みについて



臨時交付金の活用で迅速な対応を

## 公園と観光環境の整備を



市政クラブ 三浦 勝秀 議員

**都市公園のあり方について**

**問** 公園のトイレの現状と改修計画について伺う。

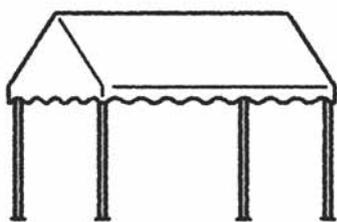
**答** それぞれのトイレの状況に違いはあるが、長年使用しているトイレについては、においや汚れの染み、経年による老朽化が進んでいることは承知している。今後の公園トイレの改修については、これまでと同様に定期的な清掃を行うとともに、利用頻度や経年劣化、破損などの状況をしつかりと把握する。昨年度実施した大きな公園アンケート調査より、市民からいただいた意見を踏まえながら、トイレの具体的な改修年次計画は定めていないが、噴水やトイレ等の公園施設全体の改修内容について検討し、進めていきたいと考えている。

**問** 観光産業施策について  
観光事業者への支援について伺う。

**答** 限られた財源の中で、市

民や市内事業者のために最も効果的な対策を実施するために、これから冬を迎える期間軸も見極めながら、慎重に検討し、国や道の施策を注視しながら、経済団体や金融機関と緊密に連携していく。

**問** テント等イベント備品の更新や修繕について伺う。  
**答** あぐりん館に保管されているテントは、今年度、修繕費用を予算措置しており、損壊が著しいパーツの修繕あるいは更新を予定している。



テントの修繕や更新を

## 一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



### 時代に沿ったDXと部活動

市民ネット 高野美枝子 議員

#### 名寄市のDX推進について

**問** コロナ禍の中、市内では光回線が整備され、小中学生には1人1台のタブレットが導入され、議会もIT化に向けて動いている。コロナワクチン接種申込時に初めてスマートフォンで予約することを知ってその便利さに驚いた方も多い。DX（デジタルトランスフォーメーション）の現状と課題としてマイナンバーカードとの連携普及状況、市民への周知について伺う。

**答** マイナンバーカードの交付率は国48%名寄市44%。市民への丁寧な説明を行い啓発に努め、市民生活向上の取り組みを進める。

#### 名寄市の教育環境について

**問** 岸教育長は名寄市初の女性特別職、教育長に就かれ市民も大いに期待している。名寄市の教育環境について、教職員の働き方改革を踏まえた

部活動改革について、コミュニケーション・スクールの考え方について、いじめ問題について伺う。

**答** NAYOROスタイル部活動改革推進事業は学校、保護者、スポーツ団体と協議し、実態を踏まえた体制づくりに取り組む。コミュニティ・スクールは学校、地域がパートナーとして地域学校協働活動の一体的推進が必要。いじめについては「名寄市小中高いじめ防止サミット」で根絶に向け意識醸成を図っている。



スマホ教室



### くらしと子どもたちの支援を

日本共産党 川村幸栄 議員

#### 物価高騰への支援を

**問** 生活必需品の値上げが加速。帝国データバンクの調査で、食品の値上げは9月以降8043品目の予定。土別市は燃料券として1万円を全世帯に配布するなど、道内でも

切。友達と会えない、思いっきり遊べないなどストレスを抱えている。こうした困難を取り除いてあげる必要がある。本市の取り組みは。

住民支援に取り組む自治体が増えている。原油・資材の高騰の影響が幅広い業種におよんでいる事業者への支援、来年の営農計画にも大きな影響が出ると不安を募らせている農業者への支援についても、本市の考えは。思い切った施策で市民に強いメッセージを

**答** これまで以上に子どもたちの危機のサインを見逃さず、早期発見・早期対応に万全を期すよう学校に求め、心の教室相談員やスクールソーシャルワーカーなどと連携を図り、組織的、協働的に支援する。

**他の質問** 旧統一協会と市長の関連について

**答** 喫緊の課題である。地方創生臨時交付金の使途について協議をし、より効果的に、多くの市民にゆきとどくかを判断したい。

#### 子どもが主人公の居場所を

**問** コロナ禍、6人に1人の子どもに中等以上のうつ症状があるとの調査が。「子どもの内面」に寄り添うことが大



子どもたちの笑顔を守りたい

令和3年度決算審査特別委員会

令和3年度の決算を認定

第3回定例会において、令和3年度の各会計決算について、全議員で構成する決算審査特別委員会を設置し、内容を審査しました。

第1回委員会を9月5日に開催し、委員長に遠藤隆男委員、副委員長に富岡達彦委員を選出しました。

第2回目以降は、9月26日から29日の4日間の実質審議に入り、各会派の代表による総括質疑および委員による質疑が行われ、男女共同参画、移住・定住、公共交通、農業・観光に関する施策、教育、福祉行政、病院事業など、多岐にわたる案件について、事業の成果や今後の展望、市民生活の向上に向けた事業の継続や改善を求めるなど、議会が決定した予算が適正に執行されたのかどうかを慎重に審査しました。

審査の結果、全会計決算中、

一般会計と国民健康保険特別会計については賛成多数により、その他の介護保険、食肉センター、後期高齢者医療、大学の4特別会計と病院、水道、下水道の3事業会計は全会一致で認定されました。審査結果は本会議で報告され、各会計決算は原案のとおり認定されました。



遠藤隆男委員長(左)と富岡達彦副委員長(右)

決算審査特別委員会での質疑の一部を掲載します

移住PR事業費

**問** 令和3年度は移住促進について重点施策となっていたが、もう少し受け皿づくりを整備する必要があるかと思う。今後の移住促進に繋げていくことに対する考えは。

**答** 昨年作成した4本のPR動画を活用しながら多方面に名寄をアピールする他、移住コーディネーターの地域おこし協力隊を募集しており相談体制を充実させていく。

保育所運営事業費

**問** 現在、市の3保育所では、使用済みおむつは保護者が持ち帰っている。保護者、保育士の負担軽減のため、自園での処理はできないのか。

**答** おむつと水筒を一緒に持ち帰るなど、衛生面でありあまり良くないことは認識している。令和6年の認定こども園開設に向けて整備していきたい。

地域交通対策事業費

**問** 西回りの市内循環バス路線が、運転手不足により10月から減便になる。市民からは不安の声を聞くがその対策は。

**答** 10月広報で減便について周知する予定。定時定路線が時代にマッチしなくなっている。代替りの施策を地域公共交通活性化協議会専門部会で研究中。

除雪サービス事業費

**問** 一定の所得制限を設けて実施している除雪サービス事業で、原油価格高騰を踏まえたサービスの拡充の考えは。

**答** 限られた財源による福祉サービスの中の一つである。今のところは屋根の雪下ろしサービスと合わせて現行のサービス内容を継続する予定。

総括質疑



財政規律の見直しは必須

市政クラブ 山田典幸 委員

財政指標等の状況について

**問** 令和3年度決算において、将来負担比率、経常収支比率など前年度に比べ大きく改善された状況に対しての認識は。

**答** 良好な結果となったが、地方交付税における制度の改正や、新型コロナウイルス感染症に起因する一時的な好転であると認識している。

地方交付税の今後の推移

**問** 本市歳入の根幹である地方交付税について、対前年比6・5%増となったが、増加要因と今後の見通しについて伺う。

**答** 普通交付税における地域デジタル社会推進費の創設、特別交付税における除排雪経費の算定増などが主な増加要因となった。人口減少が今後の交付税の減少につながることから、決して楽観的な推計はできない。

基金の状況について

**問** 基金残高については、前年度より約6億円増加し、100億円を上回る積立額となったが、増加要因と今後の基金の状況について伺う。



今後も老朽化する公共施設等への対応により厳しい財政運営が想定される（写真は智恵文小学校改築工事現場）

**問** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを活用できたことが主な要因。今後については、社会保障経費の増加や老朽化する公共施設への対応として、今以上に基金に依存した財政運営が想定される。

**答** 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などを活用できたことが主な要因。今後については、社会保障経費の増加や老朽化する公共施設への対応として、今以上に基金に依存した財政運営が想定される。

財政規律の見直しについて

**問** 昨年11月に示された中期財政計画において、財政規律の見直しを検討するとしていたが、改めて考え方を伺う。

**答** 今後多額の事業費を要する公共施設への対応等を踏まえると、財政規律の見直しは必須であると考えている。



適正な予算執行にむけて

市民ネット 倉澤宏 委員

決算概要について

**問** 令和3年度一般会計決算額は前年度に比べ20億円余り減少したが、市民生活及び市内経済に対する影響は。

**答** 低所得世帯、子育て世帯等の給付金給付事業や暖房費用緊急支援事業等を実施したことにより地域経済の下支えが出来たと考える。

新型コロナ対策について

**問** 様々な新型コロナ対策事業が実施されたが高齢者や障がいを持たれた方に特化した事業が一切無かった。事業選定の考えと今後の対応は。

**答** 状況に応じ国や道の事業展開を見ながら選定しており、今後も各種補助金や臨時交付金などを活用して必要な事業を展開できるように検討していく。

行財政改革について

**問** 指定管理施設34施設の指定管理料がここ3年間毎年約1億円ずつ増加しているが指



物価が高騰、燃料価格も高止まりするなか、真に必要な施策が求められる。

定管理料についてはどのような分析し検討したか。

**答** 人件費、清掃委託業務経費の上昇によるもので増額は妥当な額であることを確認して協定を更新している。

**当初予算の考え方**

**問** 当該年度は12回の補正予算が提出されたが、当初予算の重要性についての考えは。

**答** 当初予算に予定する事業すべてを計上することが基本であるが、課題を的確に捉え対応するために必要な補正予算であったと考える。

# 総務文教常任委員会活動報告

## 第7回委員会報告

8月24日に委員会を開催し、名寄市立大学から学生確保に向けオープンキャンパス、244校学校訪問、魅力プロジェクトなどによる説明を受け、質疑を行いました。

教育部からNAYOROSスタイル部活動改革推進事業（活動指導委員等登録事業・



「防災体験教室 2022」が名寄西小学校で行われ、地下浸水体験装置で生徒が災害から身を守る知識を体験しました

部活動学校間バス移動モデル事業・ICT部活動支援事業、全国学力・学習状況調査結果、名寄中学校整備事業、智恵文小中学校整備事業、高等学校支援事業について説明を受け、質疑を行いました。

総合政策部から再生可能エネルギー導入計画策定業務、総合計画（第2次）後期計画策定状況、Nスポーツコミッションの法人化経営計画策定状況、街なか運動会、名寄ピヤシリスキー場ヒルクライムレース、補正予算について説明を受け、質疑を行いました。総務部からは名寄警察署跡地取得活用、名寄市休日に関する条例等の一部改正、名寄市DX推進計画の策定、DX推進組織委員会・ワーキンググループの設置及びDX講習会、名寄市防災訓練、補正予算の概要について説明を受け、質疑を行いました。

## 第8回委員会報告

9月5日に委員会を開催し、



コミュニティバスの西回り線が、運転手不足と利用者減少のため、10月からの減便となります

## 第9回委員会報告

9月12日に委員会を開催し、総合政策部からコミュニティバス西回り線の運転手不足と利用者減少のため、バス減便について説明を受け、質疑を行いました。

経済建設常任委員会に付託された、王子マテリア名寄工場跡地の「名寄市企業立地促進条例の特例に関する条例の制定について」の連合審査会の開会の申し入れを受け、満場一致で同意しました。

## 議会日誌 8~10月

8/3	全国市議会議長会基地協議会 北海道部役員会（帯広市）
8/8	議会運営委員会 議会報特別委員会
8/18	市民福祉常任委員会 議会報特別委員会
8/24	総務文教常任委員会
8/26	経済建設常任委員会
8/29	各会派代表者会議
9/2	議会運営委員会 議会報特別委員会
9/5	令和4年第3回定例会開会

9/6	決算審査特別委員会 議員協議会
9/12	経済建設常任委員会 総務文教常任委員会 連合審査常任委員会
9/20	連合審査会
9/21	経済建設常任委員会
9/22	議員協議会
9/26	決算審査特別委員会 議会報特別委員会
9/27	決算審査特別委員会
9/28	決算審査特別委員会 議会運営委員会

9/29	決算審査特別委員会 令和4年第3回定例会閉会
10/12	議会報特別委員会 北海道市議会議長会道北支部 議長会（士別市）
10/13	全国自治体病院経営都市議会協議会 正副会長・監事・相談役会議
10/14	議会報特別委員会
10/18	全国市議会議長会基地協議会 北海道部会定期総会（苫小牧市）
10/20	市民福祉常任委員会
10/25	総務文教常任委員会
10/26	道北支部議長会議員研修会（旭川市）
10/31	議会運営委員会

※経済建設常任委員会・総務文教常任委員会連合審査会を『連合審査会』と略して表記

## 市民福祉常任委員会活動報告

### 新型コロナウイルス感染症

8月18日第6回委員会にて健康福祉部からは新型コロナウイルス感染症について報告があり、3回目の接種済者は16歳以上で82・4%。4回目は7月20日から開始し、8月15日現在4123人が接種終了。オミクロン株ワクチンについては国の動向を注視しながら進めています。市立総合病院では8月に入り感染症者は500人を超え、コロナ病床で1日平均10人程度の入院を受け入れています。発熱外来は7月中旬以降から受診者が急増しており、平日は1日平均30人程度が受診しています。診療体制がひっ迫しているため、東病院、士別市立病院の協力を得ながら対応しているとの説明がありました。

### 幼保連携型認定こども園

建設スケジュールは4年8月22日から5年11月24日まで認定こども園等建設工事、6年1月から7月まで旧南保育所解体工事、令和6年4月か

ら11月まで認定こども園等外構工事、旧西保育所解体工事を予定しているとの報告がありました。



幼保連携型認定こども園

### 令和3年度税収納状況

現年度課税分市税調定額、収入額の報告があり、道内都市における名寄市の市税総合の収納率は99・4%で道内2位、現年度課税分の収納率は99・7%でこちらも2位でした。

### その他

市立総合病院からは10月以降の常勤医、看護職員、医療技術職員等の人員体制の報告を受けました。

### 委員会のテーマその他

委員会では「高齢化社会における健康寿命の延伸について」を調査研究のテーマに7月12日から15日まで「地域包括支援センターの取り組み」

「第2次元気プラン新居浜21の取り組み」「健康都市西条実現の取り組み」「エコプラザあかいわ（赤磐環境センター）」について行政視察を行いました。その後、視察の報告書の確認を行い、委員会のテーマについては第4回定例会までにまとめを行います。また、市民との意見交換会での質問・意見の取り扱いについては所管部署と確認の上、委員全員で協議し、次回の意見交換会において報告する予定です。



新居浜市では第2次元気プラン新居浜21の取り組みを学びました

## 議会運営委員会活動報告

令和4年第3回定例会の日程及び議事運営などを協議するため、委員会を5回開催しました。

9月2日の委員会では、会期を9月5日から9月29日までの25日間とすること、一般質問は20日から22日の3日間とし12名の議員が登壇することを確認しました。上程議案は、名寄市の年末年始の休日の変更に伴う関係条例の整理に関する条例の制定についてなど12件と報告1件を確認、議案第2号名寄市企業立地促進条例の特例に関する条例の制定については、経済建設常任委員会に付託し、会期内審査とすること、議案第13号令和3年度名寄市一般会計決算の他、5特別会計決算と3事業会計決算を、全議員で構成する決算審査特別委員会に付託し審査することとしました。9月28日の委員会では、定例会最終日の追加議案3件及び経済建設常任委員会付託案件の委員長報告を行うことを確認しました。

## 経済建設常任委員会活動報告

### 所管事業の現地調査

8月26日に第9回委員会を開催し、経済部より有害鳥獣対策事業の実施状況について、建設水道部からは、所管事業の実施状況について、それぞれ報告を受けました。その後、所管事業などの現地調査を実施しました。なよろ温泉サンピラー温浴施設改修工事の進捗状況を確認、南1丁目道路路改良舗装工事現場視察、風連地区大豆圃場にて、生育状況の確認を行いました。



名寄温泉サンピラー温浴施設改修工事の現場を視察

### 名寄市企業立地促進条例の特例に関する条例の制定について

令和4年第3回定例会において、当委員会に付託された「名寄市企業立地促進条例の特例に関する条例の制定について」の審査にあたり、関連する総務文教常任委員会との連合審査会を開催することを9月5日の第10回委員会にて決定しました。

9月6日に第1回連合審査会を開催し、委員からは、現行条例の施行後半年を経過しないうちに、特例条例の制定の提案に至った理由について質疑があり、説明員からは、「王子マテリア名寄工場の稼働停止による経済的損失からの早期再生と、雇用の創出を図るための3本の柱の事業の具現化に向けた、強いメッセージが必要と考え今回の提案に至った」との答弁がありました。また、財政的な見通しについて「相当厳しいが、王子跡地活用の課題については、早急な対策が必要との認識を庁内全体で共有しており、今回の提案に至った。特定財源等の情報収集に努め財政負

担軽減を図っていく」との答弁がありました。

第2回連合審査会を9月12日に第3回連合審査会を9月20日にそれぞれ開催し、質疑を継続しました。委員からは、市民生活や地域経済への影響と、市民理解等について質疑があり、説明員から「新たな産業振興により雇用が創出されることは、地域経済再生に重要」「次世代にしっかりと産業を根付かせるための判断が今迫られていると考えている。まちづくり懇談会や様々な機会を通じて、周知をしたい」との答弁がありました。

9月21日に第11回委員会を開催し、質疑、委員間協議の後採決を行い、全会一致で可決すべきものと決定しました。



王子マテリア名寄工場の敷地利活用の早期具現化が求められている

### 議会改革について

議会改革では、名寄市議会基本条例を検証する中、問題・課題を整理し、議論を行いました。

議員報酬のあり方にかかる議論については、名寄市議会の議員報酬が適正な水準にあるか否かについて、4件の資料を参考に協議を行い、結論として「現在の議員報酬は決して高くはない」との共通認識を得ました。今後の議論の進め方として5項目に整理するなど検討を行ってきましたが、改選期まで約7ヶ月となることから今期中での検討を終結し、さらなる検討を次期議員に委ねることとしました。

また、一般質問の「聞き取りの見直し」については、最初の質問が執行部や傍聴人等に理解していただけるよう、質問の要旨を分かりやすくすることに努めることなどを確認し、今期中の議会改革の議論を終結することとしました。

# 市民福祉常任委員会視察報告

高知県《南国市》  
愛媛県《新居浜市・西条市》  
岡山県《赤磐市》

当委員会では「高齢化社会における健康寿命の延伸について」を調査研究のテーマとし高知県南国市、愛媛県新居浜市、西条市、岡山県赤磐市で行政視察を行いました。

南国市では「地域包括支援センター」の取り組みについて「視察。後期高齢者一人当たりの医療費は高知県が全国1位、南国市は県内2位となっていることから、地域包括支援センターの機能強化は重点施策であり、介護予防把握事業で保険事業と介護予防の一体的な実施を行っていません。75歳以上で介護認定を受けていない方に、保健師と地域支え合い推進員で家庭訪問を実施。介護予防普及啓発事業では参加が少ない男性に焦点を当て募集チラシも工夫していました。介護認定につながっていない高齢者への訪

問事業や市民ボランティアによるフレイルサポーターの募集など、参考になりました。



「地域包括」を学んだ南国市

新居浜市では「第2次元気プラン新居浜21の取り組みについて」視察。「日々すこやかに笑顔あふれる健康のまち」をスローガンに、健康寿命の延伸、生活習慣病の発症・重症化予防の徹底に取り組んでいます。送迎に頼らない住民主体の通いの場づくりでは市民体操指導士を養成し、運動支援・機能評価、出前講座を行っています。就労層の運動

習慣の定着、健康意識の向上促進のため、チームでのウォーキングを実施し、20歳代からの参加で歩数増加、BMIの改善、運動日数の増加等効果がありました。情報弱者対策、保健事業と介護予防を一体的に実施するための保健・医療・福祉の連携強化等、本市も同様の課題があり今後も注視し参考にします。

西条市では「健幸都市西条実現の取り組みについて」視察。西条市版SDGsの推進として健康寿命の延伸、働きがいの創出、経済活力の維持、経営感覚のある行財政運営の実践を設定し取り組んでいます。保健師の企業訪問により健康意識の醸成を図り、ワクワク健康ポイント事業では健康寿命の延伸、経済活動に貢献しています。笑いで健康づくり推進事業では笑いヨガを検討中。本市でもNスポーツコミッションとの連携で健康と経済、地域コミュニティ、少子高齢化対策等、市民、企業、行政が一体となることが重要です。

赤磐市では「エコプラザあ

かいわについて」視察。当市は炭化処理施設が老朽化し中間処理施設の検討が進められており、望ましい処理施設の参考とするため視察先としました。高齢者や転勤者が分かりやすい分別方法の検討、プラスチック処理、総排出量の減量化、機種選定等具体的な手法について学びました。設備導入では、最終処分場の延命対策及びランニングコストの低減に向けた建設費用を考えることが必要です。

今回4市を視察し創意工夫を重ね輝いている担当者に大変刺激を受けましたので、今後の活動に活かしていきます。



エコプラザあかいわを視察

経済建設常任委員会視察報告

室蘭市・登別市・富良野市

7月12日及び13日の2日間の日程で、室蘭市、登別市、富良野市の計3カ所にて行政視察を行いました。

室蘭市では、「地方再生コンパクトシティ」の取り組みについて視察を行いました。全国で32都市が選定されるモデル都市に選定され、社会資本整備総合交付金による室蘭駅周辺地区都市再生整備計画事業を開始し、公共施設の合築や旧室蘭駅舎と隣接する公園の一体的な整備を行いました。また、室蘭のまちなかを総合的にプロデュースする「まちプロ室蘭」により、まちづくりの担い手発掘や、遊休不動産の活用、創業支援など、商店街の活性化に向けた官民連携の取り組みが行われています。本市においても公共施設の老朽化や、中心市街地の活性化策など同様の課題があり、民間主導のまちづくりの動きを、行政が実現に向

けサポートしていく官民連携体制の確立が重要であること改めて認識しました。



室蘭市で図書館と環境科学館を合築した「えみらん」を見学しました

登別市では、コロナ禍における観光施策について視察を行いました。全国でも有数の温泉地である登別温泉は、国内外から年間約400万人もの観光客を受け入れていますが、令和2年のコロナ禍においては約100万人まで落ち込みました。そのような状況のもと、令和2年の緊急事態宣言の解除に伴い、観光客の早期回復を期するため、「湯之国登別応援事業補助

金」や「湯之国登別クーポン発行事業補助金」を創設し、3回のクーポン発行事業を展開しました。また、今後は新たな観光需要として、国内外からのワーケーションやサテライトオフィスなどの誘致を増やすことを模索していきたいとのことでした。本市と登別市では、観光立地の条件が大きく異なりますが、アフターコロナの新たな観光施策の考え方など、本市の観光振興にも活かせる内容が多くありました。

富良野市では、民間を主軸とした官民協働による複合的中心市街地活性化事業について、ふらのまちづくり株式会社に向い視察を行いました。同社が主体となって推進する、富良野市中心市街地活性化基本計画の複数の事業のうち、観光の拠点としての機能を有する施設の整備事業として「フラノマルシェ整備事業」、商店街並びに未利用地を市街地再開発により一体的に開発・整備する事業「ネーブルタウン整備事業」を柱として同計画が開始され、フラノマ

ルシェは平成22年にオープン、平成27年にはフラノマルシェ2を含むネーブルタウン整備事業が完成しています。事業の効果として、富良野市の観光客入込数では、マルシェ整備前でおよそ6万人程度であったものが、マルシェ1開業後60万人、マルシェ2開業後の平成28年では122万人、令和2年のコロナ禍においても91万人と、整備前と比較して10倍以上を堅持しています。本市においても、今後想定される「まちづくり会社」を中心とした、民間主導による官民協働事業の成功事例を学ぶことができ、大変意義深い視察でした。



富良野市では官民協働による取り組みについて学び、フラノマルシェなどの施設を見学しました

## 議員協議会

9月5日に行われた議員協議会では、3件の案件について理事者から報告を受け、協議をしました。

①令和3年度名寄市社会福祉事業団事業報告では、各事業所ごとの事業概要報告と、経営状況などの報告と説明を受けました。重点取組事項について、職員研修の受講率などで質疑がありました。

②第2次名寄市行財政改革推進基本計画（前期実施計画）では、総合計画・行政評価等と連動した成果指標に基づいて、実施計画の取り組み状況の報告を受けました。成果指標の設定の仕方などで質疑がありました。

③名寄地区衛生施設事務組合一般廃棄物中間処理施設基本計画について、次期中間処理施設の計画方針、事業日程と概算費用について説明を受けました。施設は、旧名寄市清掃センターを解体・撤去後の跡地に新設し、2027年4月の稼働を目指します。総事業費の概算は「84億円強」、名

寄市の負担額はおよそ39億円になると想定されています。

9月22日に行われた議員協議会では、名寄市総合計画（第2次）後期基本計画骨子（案）について重点プロジェクトとして「経済元気化」「安心子育て」「冬季スポーツ拠点化」「生涯活躍」の4本を掲げ推進していきます。ソサエティ5・0、デジタルトランスフォーメーション、SDGs、ゼロカーボンシティ宣言など、現下の情勢を踏まえて、項目ごとにSDGsのアイコンを表示し、現状と課題、方向性を、成果指標に基づいて具現化していきたいとの説明を受けました。



住み続けたいまちづくりに向けて

## 林活議連冬囲い

名寄市議会議員18名が全員加入している「森林・林業・林産業活性化推進名寄市議会議員連盟」では、8月31日健康の森に植樹している桜の冬囲い作業を行いました。今年は木の杭を打ち込み、枝の先端をロープで縛りまとめました。今までは自然の厳しさから、枯れてしまう木もありましたが、酷寒の冬を耐え抜いて市民を魅了する花が咲くことを願いつつ無事作業を終えました。



林活議連冬囲い

## 市民の声を市政に生かします!! 議会を傍聴しませんか!

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、  
また臨時会も必要に応じて開催されます。

- ◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
- ◇傍聴するには、新型コロナウイルス感染症対策として、受付時の検温やマスクの着用をはじめ、間隔を空けて着席していただくなどのご協力をお願いします。
- ◇本会議の開催日など、詳しくは議会事務局（☎01654-3-2111）へお問い合わせください。



# ☆ き ぽ う ☆



## 何気ない毎日の中にある建物

いしかわ はるか  
石川 春花

私は現在、市内の建設会社で総務の仕事をしています。それまで学生だった私は建設業に触れたことがなく、右も左もわからない中で、早く一つでも多くの事を覚えようと毎日を過ごしてきて3年が経ちました。

私の勤務する会社は個人住宅をはじめ、名寄警察署、サンピラーパーク、名寄大学など誰もが知っている建物を建築しています。何気なく毎日目にし、時間を過ごしている家や建物ですが、安心、安全で名寄の厳しい自然環境でも耐える建物を設計・施工する職員、物を作る職人さんたちの仕事をみて、子供のころに言われていた「物を大切に」という言葉の意味もよくわかるようになりました。

会社も今年で創業100年を迎えます。私ができることはまだ少しですが、これからも会社の一員として、職場の仲間と力を合わせながら、さらに成長し会社の力になれるよう頑張りたいと思います。



## 障がいは不幸ではない

いまむら ゆづき  
今村 柚月

「障がいは不便である。しかし不幸ではない。」これは、ヘレンケラーの言葉です。

私は、生まれつき両腕がなく足の骨も変形しています。そのため、みんなと同じようにできないことも沢山ありましたが、一度も不幸だと感じたことはありません。それは、周りの人たちの沢山の手助けがあり、小中高と市内の学校に通い、友人や先生方と過ごすなかで、私自身が色々なことに前向きに考えられるようになってきたからだと思います。

自分でできないことは工夫し、無理な時には周りの人に手伝ってもらいながら生活してきました。そして、今年4月、学生の頃から目指していた市職員に合格し働いています。

まだ、不慣れなことも多く忙しい毎日を過ごしていますが、新たな出会いも多く充実しています。私は、改めて障がいは不幸ではないと感じています。

## 表紙の写真は「名寄男子バレーボール少年団」です。

名寄男子バレーボール少年団では、令和3年度から市内の男子小学生を対象に、基礎練習や大会に向けたチーム練習などを行っています。指導にあたっては、様々なチームからたくさんの指導者の方にご協力いただいています。今年度は少年団大会旭川地区予選に出場し、素敵な思い出を作ることができました。来年度以降も活動を続けていけるよう、みんなで頑張っていきます！



## 編集後記

タブレットの導入を決め、本格的な使用に向けて進められた今定例会でした▼令和3年度の決算審査も行われ、決算説明書、決算の概要説明、成果概要資料、議会側要求の追加資料など厚さ数センチの資料がタブレットの中に収められました。重い書類の持ち運びはなくなりましたが、ページをめくり、予算との比較や前年度の比較を行いながら、資料の数字を確認するという作業に慣れてしまっている者としては、小さな機材の中に仕舞われている資料の閲覧をいかに効率よく行うかが今後の課題です▼今定例会には王子マテリア工場跡地に、企業が進出しやすいよう後押しする特例条例が提案され、会期中の審議を経て可決されました。また、物価高騰の中での市民のくらし支援策も示され全会一致で可決されました▼「雪虫」を見ました。いよいよ雪の季節です。ご自愛ください。

(幸)

